

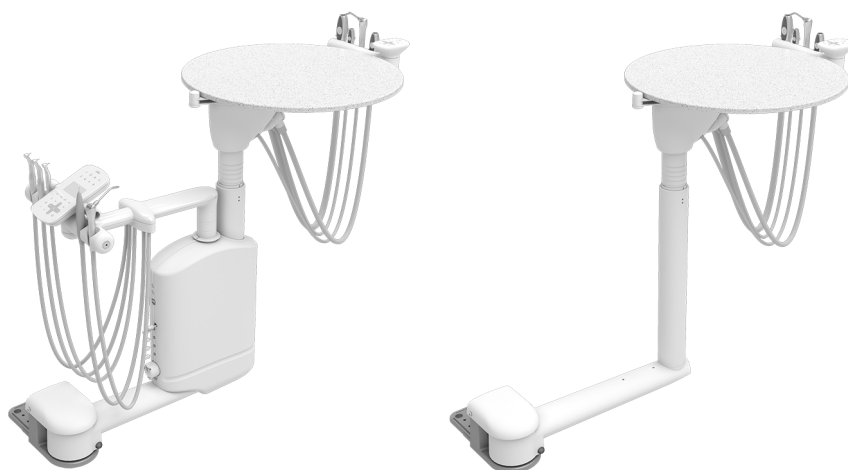
A-dec 541 Duo デリバリーシステム テムおよび 545 歯科助手用器具 サービスガイド



目次

開始する前に	2
デリバリーシステムの 取り付け	4
ウォーターボトルの 取り付け	7
インジケータライトの 取り付け (300 W 電源のみ) .	8
ワイヤーとデータ回線 の接続	9
チューブの接続	17
丸型ワークデスクの取り付 けおよびレベリング	23
トレイ・ホルダーマウント (オプション) の取り付け .	25
設置の仕上げ	27
システムの調整	28
ハンドピースのタッチパッ ド設定のカスタマイズ	33
システムのテスト	35
ハブマウントカバーおよび キャビネットのドアの取り 付け	35
規制に関する情報および 保証	36

541 12 O'Clock Duo デリバリーシステム 545 12 O'Clock 歯科助手用器具



対象機種およびバージョン

機種	バージョン	説明
545	A	歯科助手用器具
541	B	デリバリーシステム
411	A	歯科用チェアー
311/511	A/B	歯科用チェアー
591/5562/5580/5662	A	歯科内装ユニット

開始する前に

A-dec 541 Duo デリバリーシステムと A-dec 545 歯科助手用器具の取り付け手順はほぼ同じです。いくつかの軽微な相違点については、その旨を明示しています。

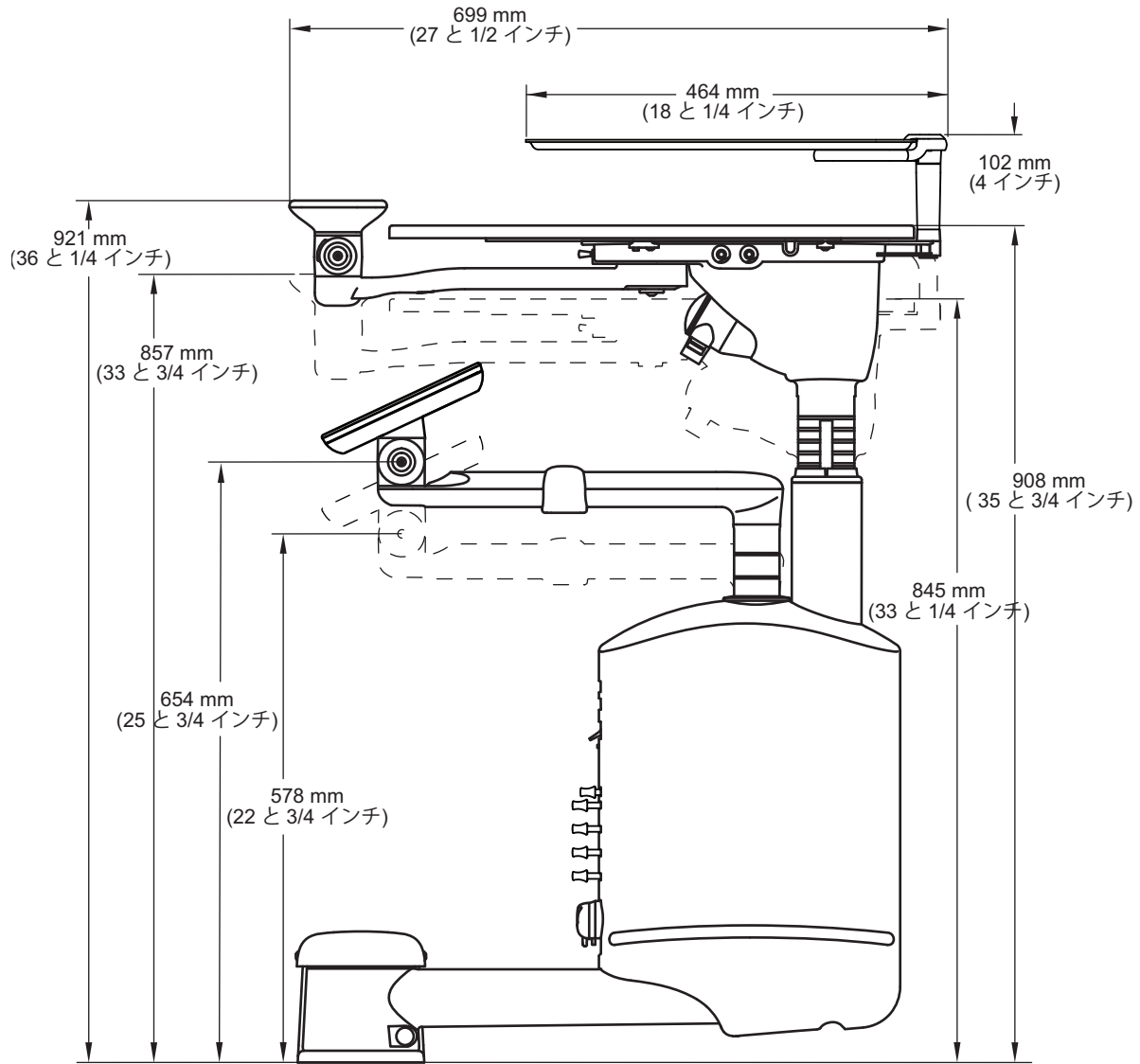
設置を開始する前に：

- お住まいの地域の建物・規格管理機関に設置要件を確認してください。
- 手動空気遮断弁が設置されていることを確認してください。
- 寸法および動作範囲、ユーティリティの配置については、以下を参照してください。
 - *A-dec 541 Duo Delivery System and 545 Assistant's Instrumentation Pre-Installation Guide* (部品番号 (P/N) 86.0034.00)
 - *A-dec Inspire[®] Dental Furniture Pre-Installation Guide* (部品番号 (P/N) 86.0528.00)
 - *Preference Collection[®] Dental Furniture Pre-Installation Guide* (部品番号 (P/N) 86.0142.00)

推奨する工具

- 斜ニッパー
- 六角レンチセット
- トルペド水準器
- 静電気防止用リストストラップ
- プラスドライバー
- ドリルとドリルビット
- ラジオペンチ
- 3/4 インチソケット (ディープウエル)
(6 インチエクステンション付き)
- 電圧計

動作域の寸法



デリバリーシステムの取り付け

デリバリーシステムマウントの取り付け

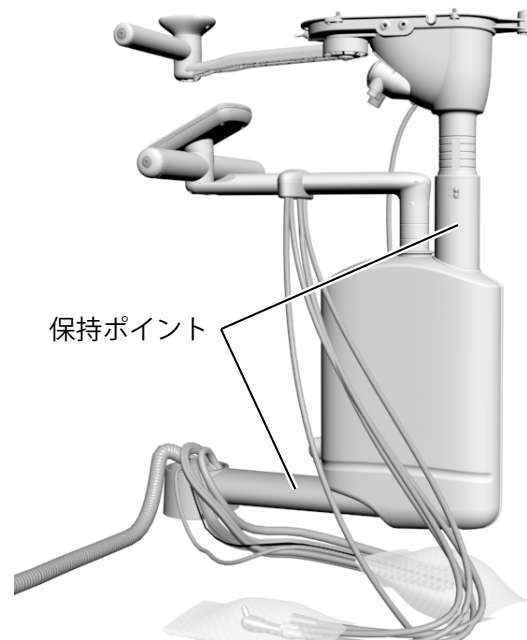
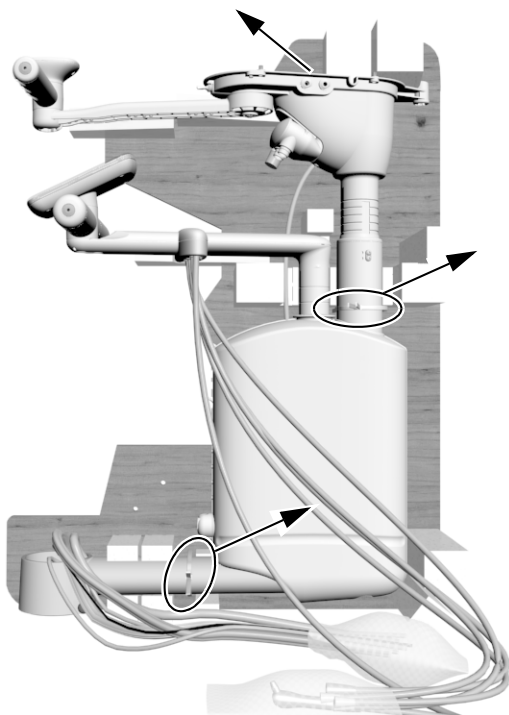
541/545 デリバリーシステムマウントの取り付けについては、マウントに同梱されている『A-dec 541/545 Delivery System Mount Installation Guide』（部品番号 (P/N) 86.0003.00) を参照してください。

デリバリーシステムの開梱

推奨する工具

- 斜ニッパー

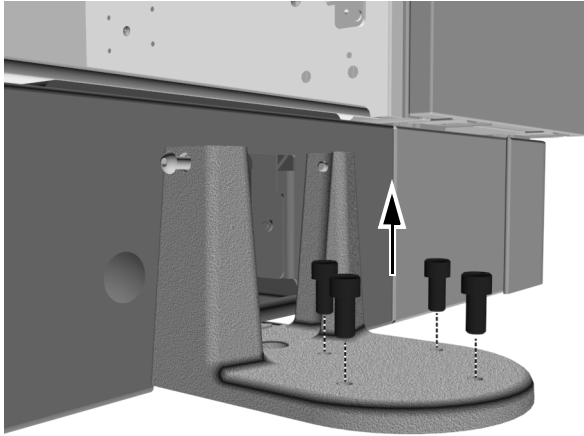
- 1 キャビネットに取り付ける場合は、キャビネットドアが設置されておらず、アクセスしやすくなっていることを確認します。
- 2 ケーブル留めを切断し、パレットおよび箱からアセンブリを取り出します。



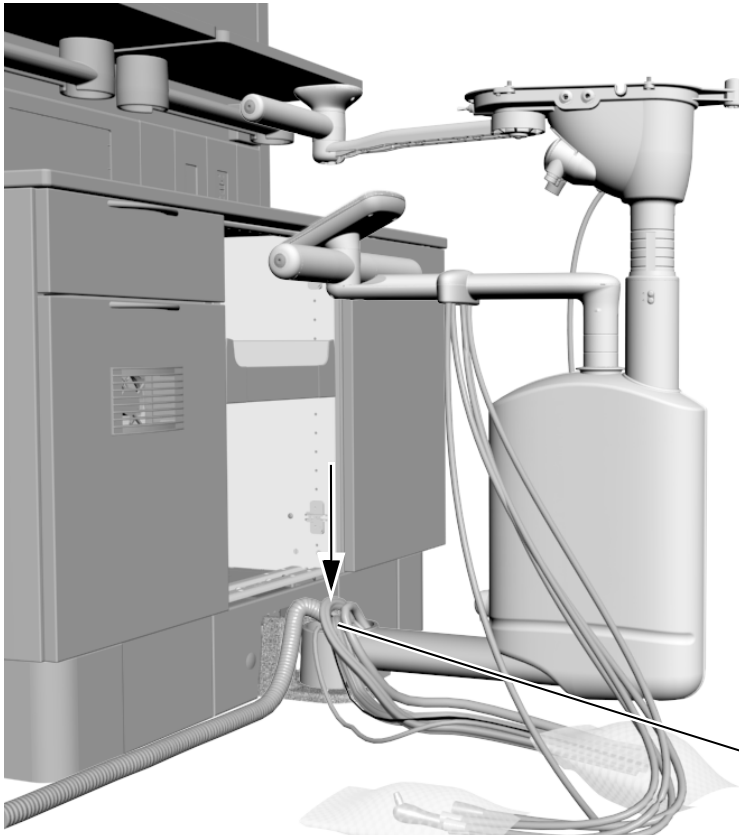
アームアセンブリの取り付けとレベリング

推奨する工具

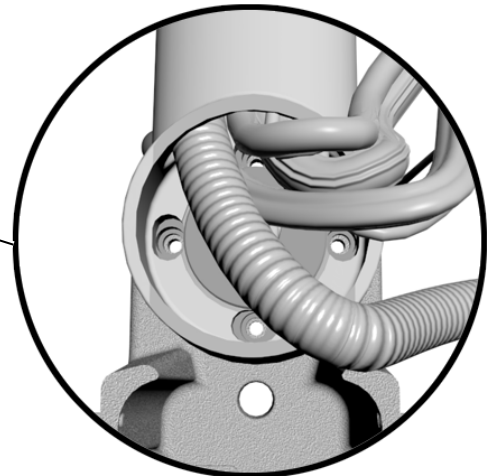
- 5/16 インチ六角レンチ
- トルペド水準器



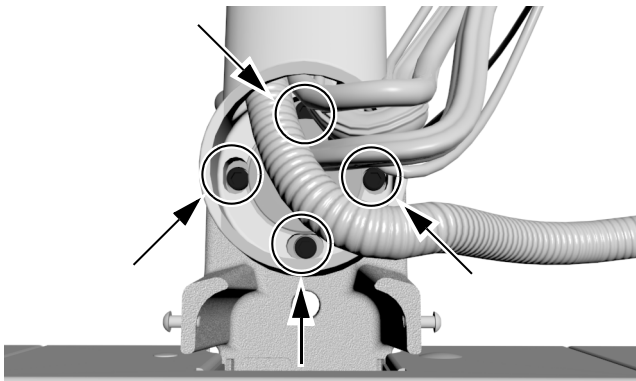
- 1** 5/16 インチの六角レンチを使用して、マウントから4本のネジを取り外します。このネジは、アームアセンブリの取り付けに使用するため保管しておきます。



- 2** アームアセンブリをマウントにセットします。マウントの穴にアクセス可能な状態にしておいてください。



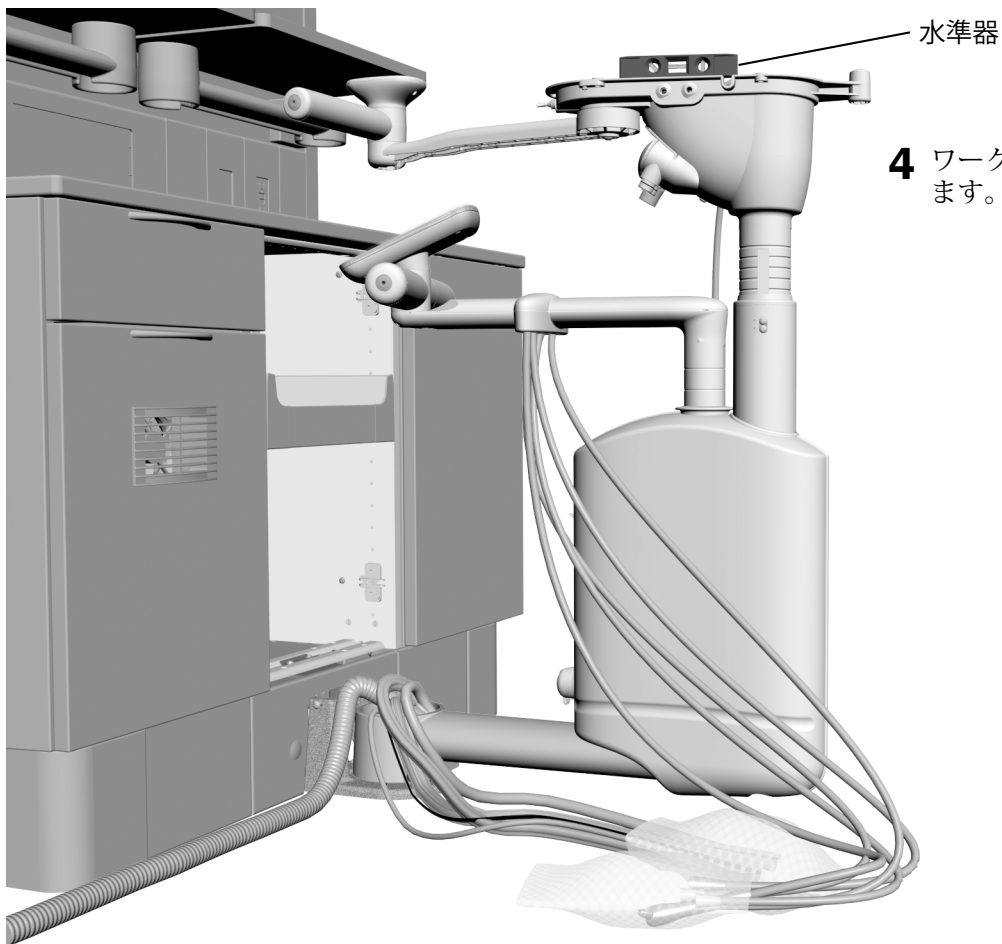
図は A-dec Inspire キャビネット



- 3** 5/16 インチ六角レンチを使用して、ステップ1で取り外した4本のネジをマウントの穴に緩くセットします。

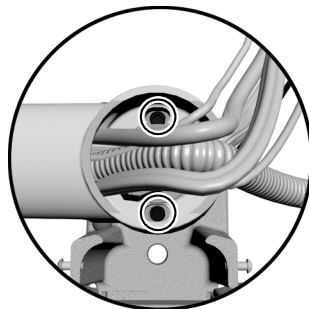
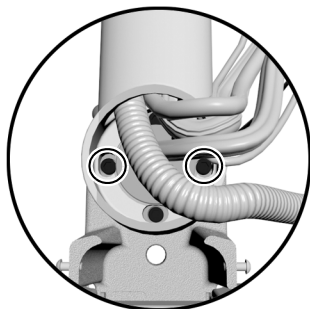


ヒント すべてのネジにアクセスするため、必要に応じてアセンブリを回転させてください。



水準器

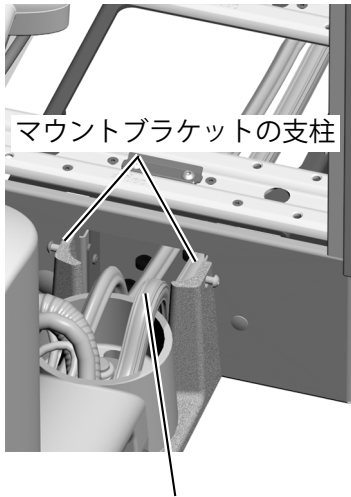
- 4** ワークデスクの上に水準器を置きます。



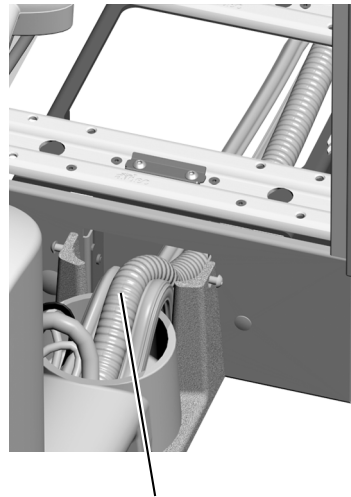
- 5** 左右の取付ネジを必要に応じて締めたり緩めたりし、ハブのレベルリングを行います。

アセンブリを回転させ、水平になっていることを確認します。前後の取付ネジを必要に応じて締めたり緩めたりします。

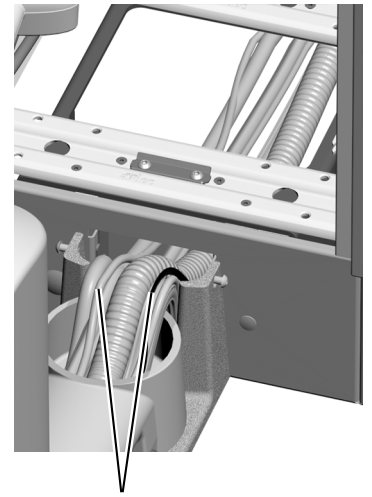
デリバリーシステムの配線とチュービング



- 1 レギュレーターのアセンブリケーブルを、マウントブラケットの支柱間を通してキャビネット内へと導きます。



- 2 次に、真空ラインを通します。

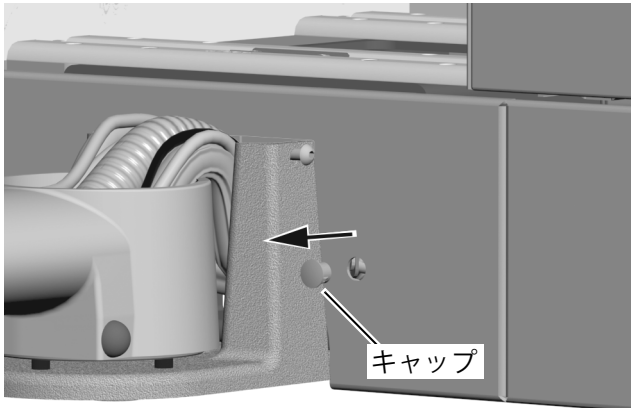


- 3 同様に、残りのケーブルを通します。すべてのチューブおよびケーブルが支柱間に完全に押し込まれ、交差せずまっすぐに引かれていることを確認します。

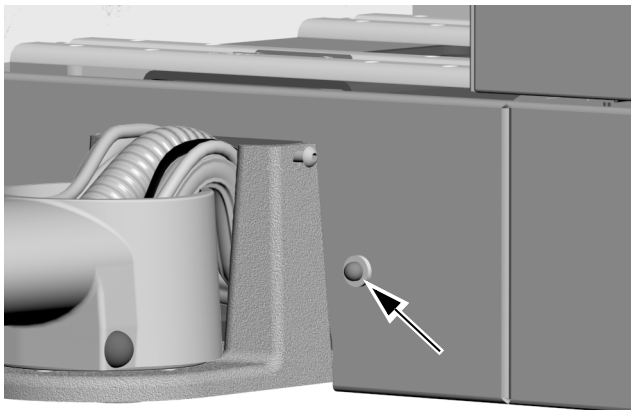
ウォーターボトルの取り付け

リモートマウントウォーターボトルの取り付けについては、ウォーターボトルに同梱の説明書を参照してください。

インジケータライトの取り付け (300 W 電源のみ)



- 1** キャビネットにあるインジケータライト用の穴からキャップを取り外します。



- 2** この穴にインジケータライトを挿入します。

ワイヤーとデータ回線の接続



要注意 回路基盤は静電気による損傷を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電（ESD）対策が必要です。回路基板の取り付けは、必ず電気技師または有資格の保守担当者が行ってください。

システムの構成に適した手順を実行してください。

300 W スタンドアロン電源	10
A-dec 511 歯科用チェアー	12
A-dec 311/411 歯科用チェアー	14
Inspire または Preference、その他のキャビネット	16

300 W スタンドアロン電源へのワイヤーの接続

取り付ける製品ごとの手順を実行してください。

A-dec 541.....	10
A-dec 545.....	11

A-dec 541



- 1 4 ポジションコネクタを電源に接続します。
- 2 6 ポジションコネクタを電源に接続します。
- 3 インジケータライトコネクタを電源に接続します。
- 4 2 ポジションコネクタを 24 VAC 絶縁リードに接続します。

次のステップ システムにデータ回線が含まれている場合は、16 ページの "Inspire または Preference、その他のキャビネットへの、データ回線の接続" を参照してください。あるいは、17 ページの "チューブの接続" を参照してください。

A-dec 545



- 1** 6 ポジションコネクタを電源に接続します。
- 2** インジケータライトコネクタを電源に接続します。



注 24 VAC 絶縁リードを接続しないでください。

次のステップ システムにデータ回線が含まれている場合は、16 ページの "Inspire または Preference、その他のキャビネットへの、データ回線の接続" を参照してください。あるいは、17 ページの "チューブの接続" を参照してください。

A-dec 511 歯科用チェアへのワイヤーとデータ回線の接続

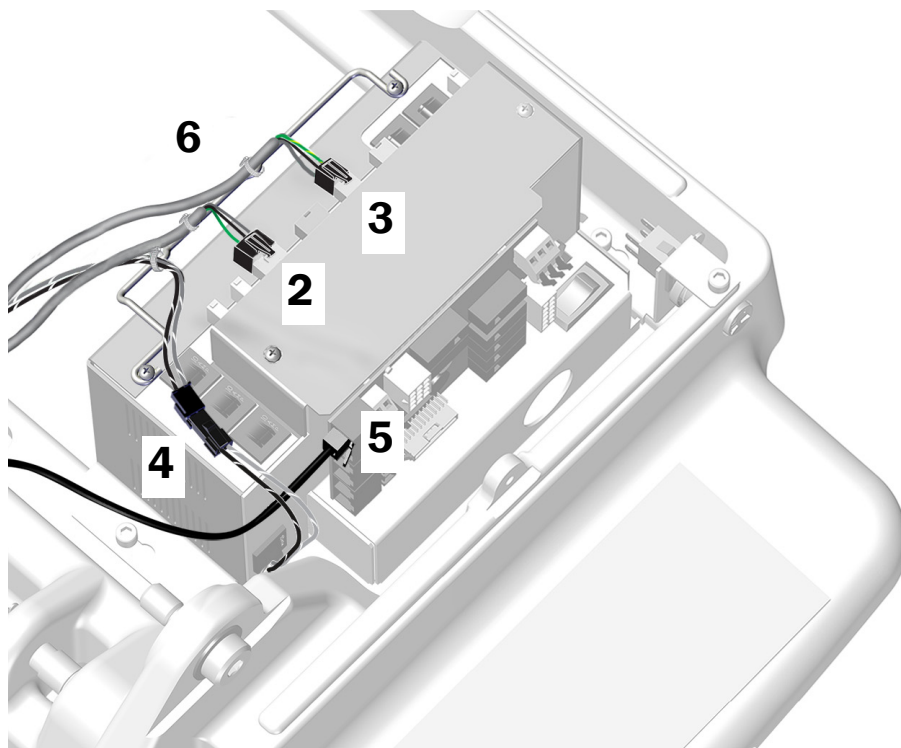
取り付ける製品ごとの手順を実行してください。

A-dec 541.....	12
A-dec 545.....	13

A-dec 541



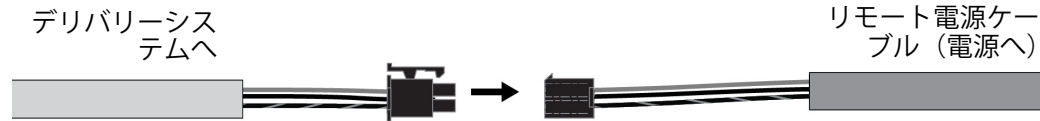
- 1 デリバリーシステムに接続された4 ポジションおよび2 ポジション、6 ポジションのコネクタを、リモート電源ケーブルのコネクタに接続します。



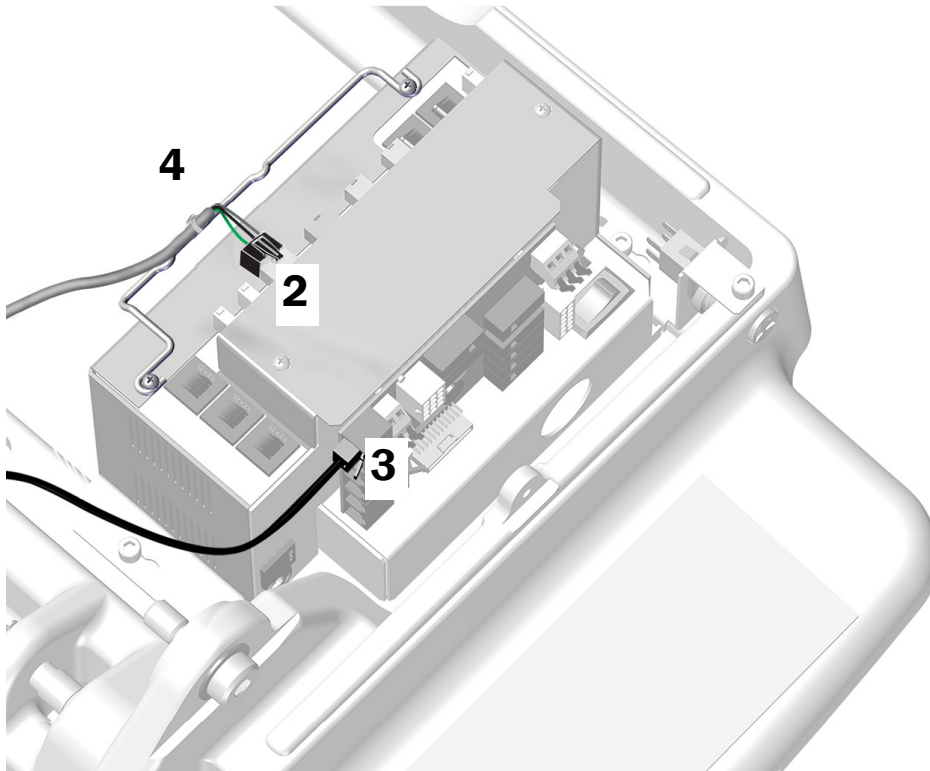
- 2 リモート電源ケーブルの6 ポジションコネクタを電源に接続します。
- 3 リモート電源ケーブルの4 ポジションコネクタを電源に接続します。
- 4 リモート電源ケーブルの2 ポジションコネクタを 24 VAC 絶縁リードに接続します。
- 5 データ回線が付属している場合は接続します。どのポートに接続してもかまいません。
- 6 ケーブル留めを使用して、ワイヤーをベイルに固定します。

次のステップ 17 ページの "チューブの接続" を参照してください。

A-dec 545



- 1 デリバリーシステムに接続された6ポジションのコネクタを、リモート電源ケーブルのコネクタに接続します。



- 2 リモート電源ケーブルの6ポジションコネクタを電源に接続します。
- 3 データ回線が付属している場合は接続します。どのポートに接続してもかまいません。
- 4 ケーブル留めを使用して、ワイヤーをベイルに固定します。

次のステップ 17ページの"チューブの接続"を参照してください。

A-dec 311/411 歯科用チェアへのワイヤーとデータ回線の接続

取り付ける製品ごとの手順を実行してください。

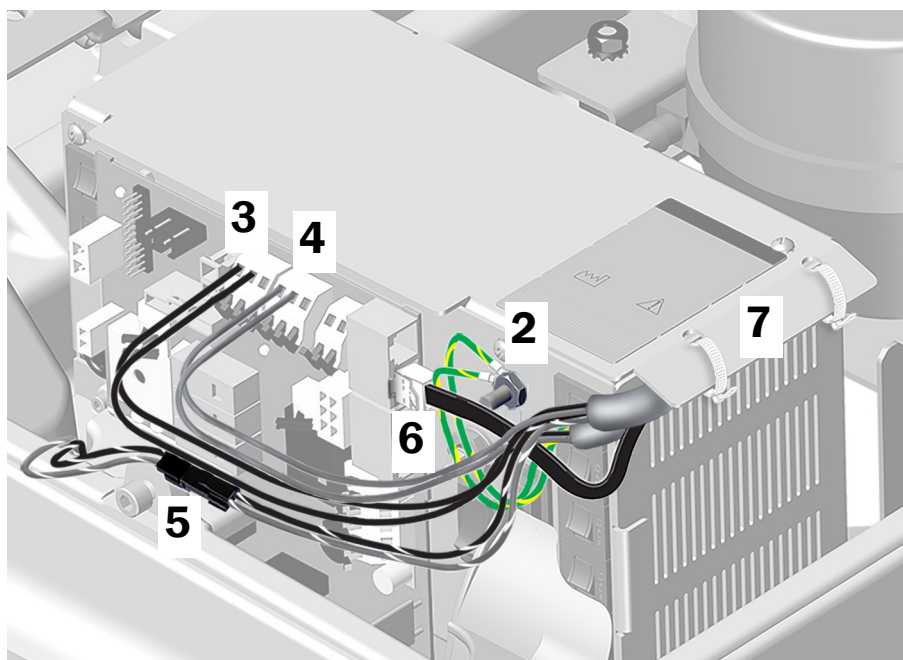
A-dec 541.....14

A-dec 545.....15

A-dec 541



- 1 デリバリーシステムに接続された4ポジションおよび2ポジション、6ポジションのコネクタを、リモート電源ケーブルのコネクタに接続します。



- 2 アース線を両方とも接続します。
- 3 黒のワイヤーを両方とも0Vに接続します。
- 4 グレーのワイヤーを両方とも24Vに接続します。
- 5 リモート電源ケーブルの2ポジションコネクタを24VAC絶縁リードに接続します。
- 6 データ回線が付属している場合は接続します。どのポートに接続してもかまいません。
- 7 ケーブル留めを使用して、リップ部の下にワイヤーおよびデータ回線を固定します。

次のステップ 17ページの"チューブの接続"を参照してください。

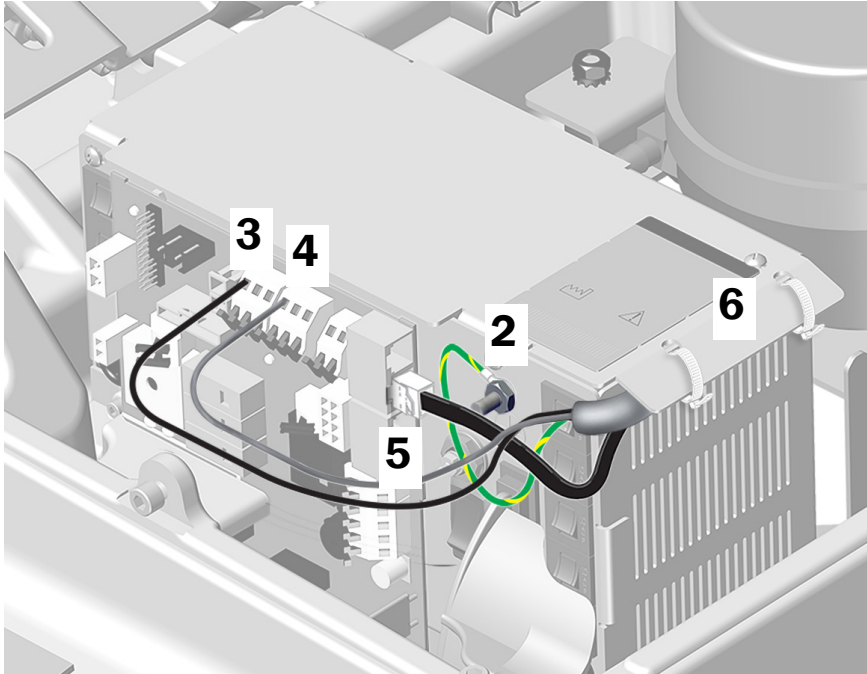
A-dec 545

リバリーシステムへ

リモート電源ケー
ブル (電源へ)



- 1 デリバリーシステムに接続された6ポジションのコネクタを、リモート電源ケーブルのコネクタに接続します。



- 2 アース線を接続します。
- 3 黒のワイヤーを0Vに接続します。
- 4 グレーのワイヤーを24Vに接続します。
- 5 データ回線が付属している場合は接続します。どのポートに接続してもかまいません。
- 6 ケーブル留めを使用して、リップ部の下にワイヤーおよびデータ回線を固定します。

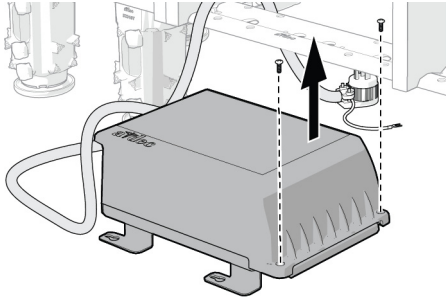
次のステップ 17 ページの "チューブの接続" を参照してください。

Inspire または Preference、その他のキャビネットへの、データ回線の接続

A-dec Inspire 配電ボックス

推奨する工具

- プラスドライバー



ヒント 配線時にアクセスしやすいよう、配電ボックスをキャビネットの外側に配置します。

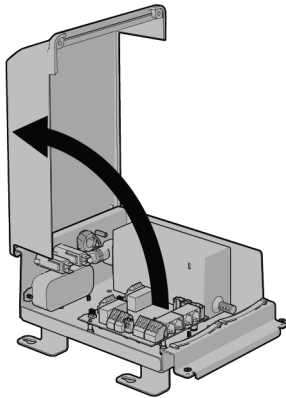
- 1** プラスドライバーを使用して、蓋を固定している2本のネジを緩めます。



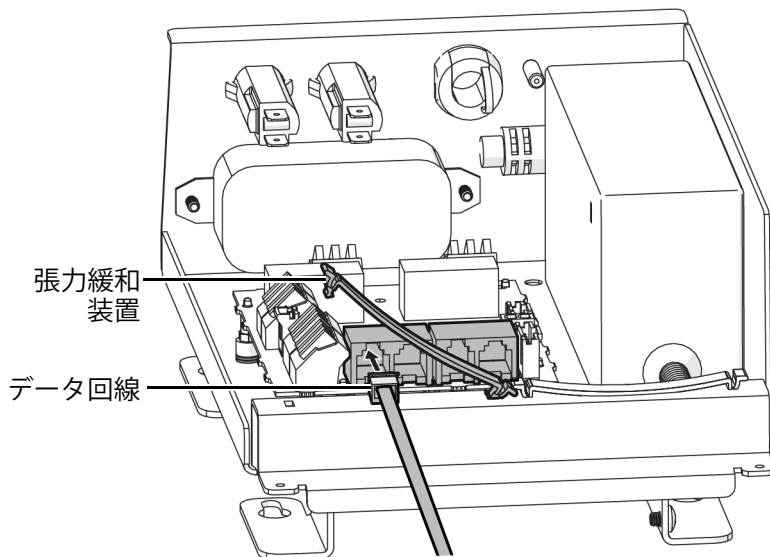
要注意 回路基盤は静電気による損傷を受けやすい部品です。回路基盤に触れる場合、あるいは回路基盤への接続または回路基盤からの接続を行う場合は、静電放電 (ESD) 対策が必要です。回路基盤の取り付けは、必ず電気技師または有資格の保守担当者が行ってください。



注意 カバーの取り外し・取り付け時は、配線や配管が損傷しないようご注意ください。また、カバーを再度取り付けた後は、しっかりと固定されていることを確認してください。



- 2** カバーを取り外します。



- 3** データ回線を接続します。どのデータポートに接続してもかまいません。

- 4** 張力緩和装置の下にデータ回線を固定します。

Preference またはその他のキャビネット、およびチェアー

ケーブルスプリッターを使用して、Preference キャビネットもしくは A-dec 以外のキャビネット、またはチェアーにデータ回線を接続します。

チューブの接続

フットコントロールの取り付け（541のみ）

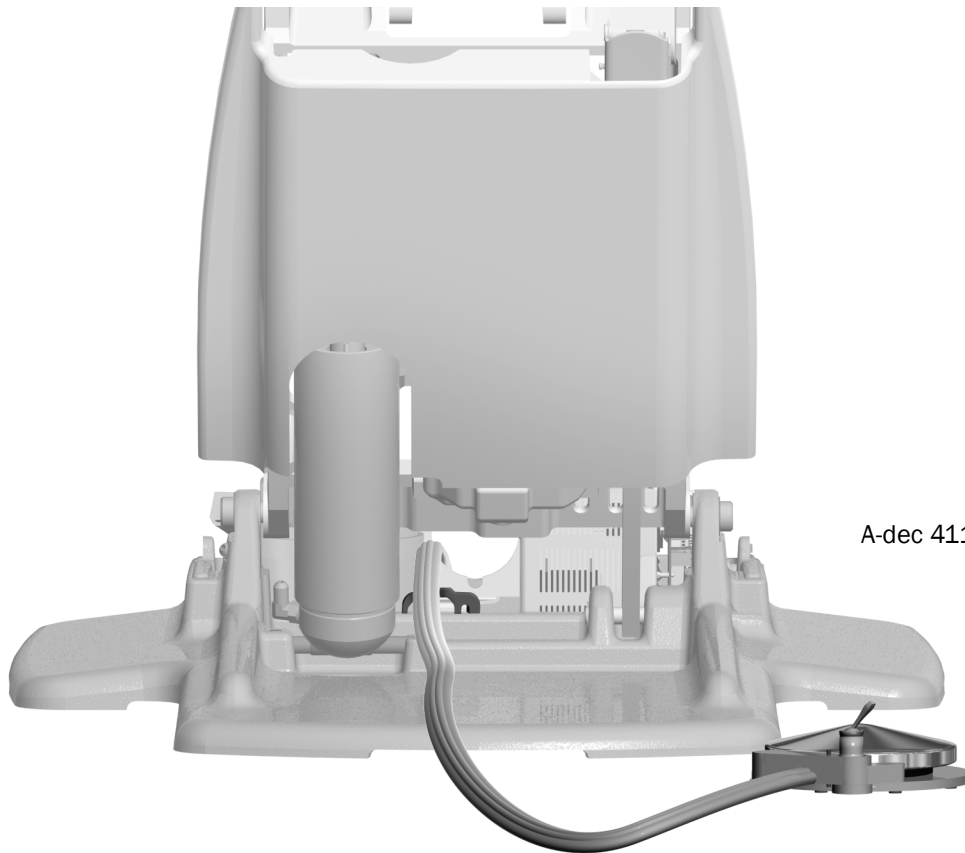


注 ディスクフットコントロールとレバーフットコントロールの設置手順は同じです。

チェアへのフットコントロールの設置

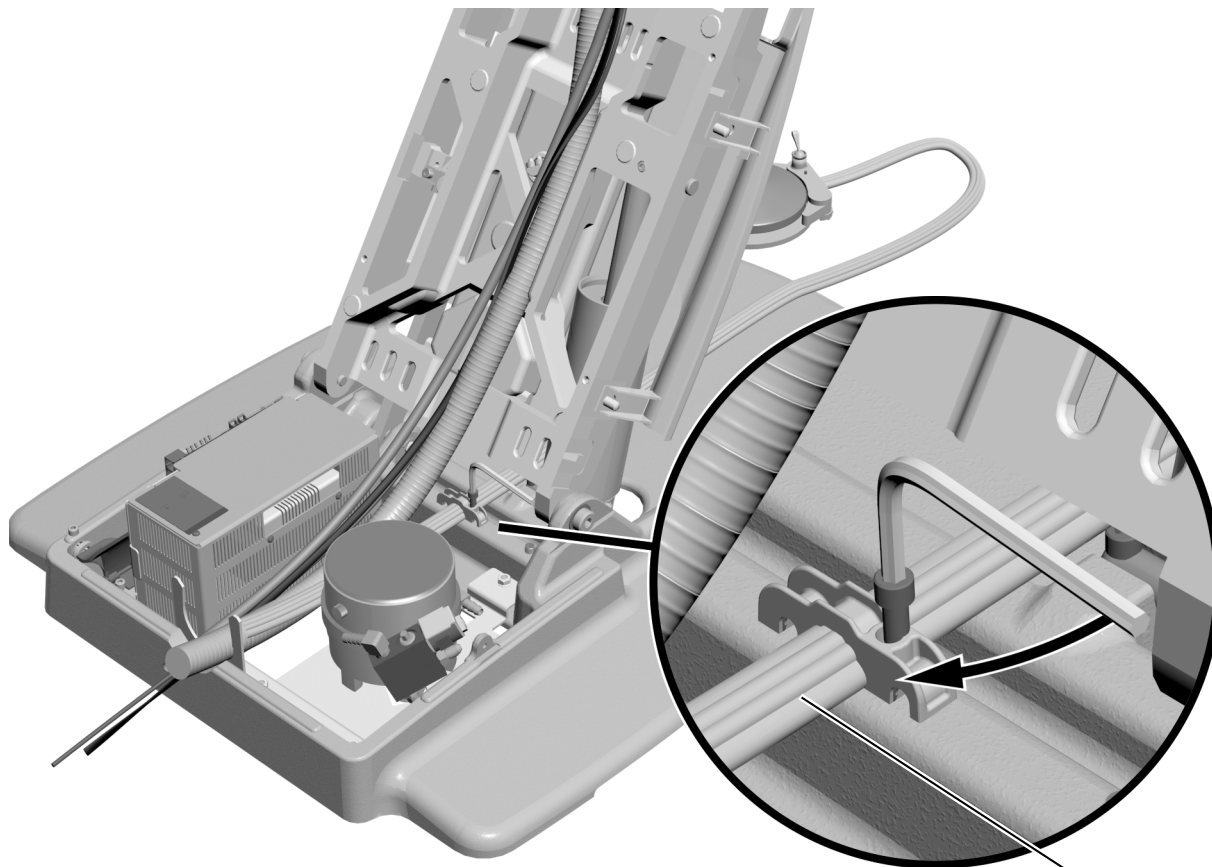
推奨する工具

- 3/16 インチ六角レンチ



A-dec 411 歯科用チェア

- 1** チェアの背面側から、張力緩和装置の上と電源装置の後ろを通るようにフットコントロールチューブを引きます。

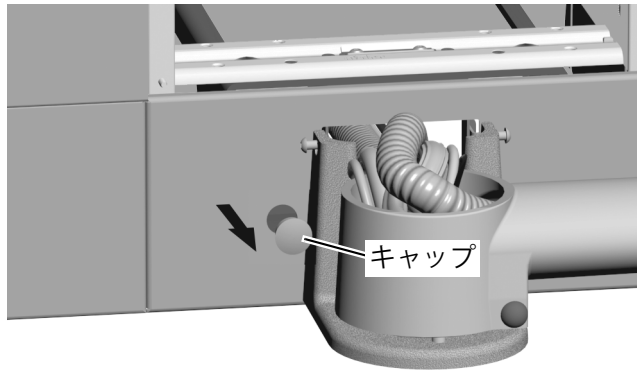


2 3/16 インチの六角レンチを使用して、フットコントロールチューブをチェアベースの張力緩和装置内に固定します。

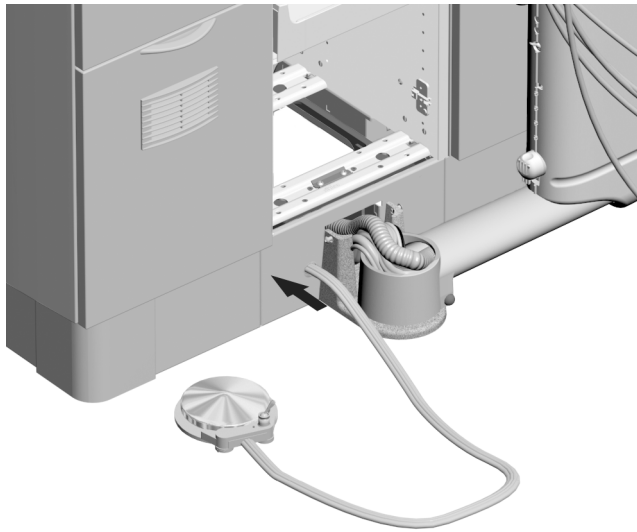


注 適切に配置できるように、フットコントロールチューブの隆起部を上に向け、張力緩和装置の溝に合わせてください。

キャビネットへのフットコントロールの設置



- 1 キャビネットにあるフットコントロール用の穴からキャップを取り外します。



- 2 フットコントロールチューブを基部に通します。

! 注 A-dec では、リモートマウントフットコントロールのチューブ長が十分に確保されていますが、場合によりエクステンションが必要となることがあります。

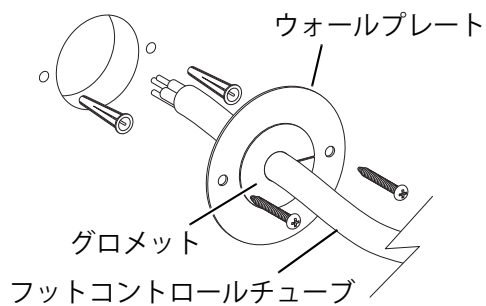
壁へのフットコントロールの設置

推奨する工具

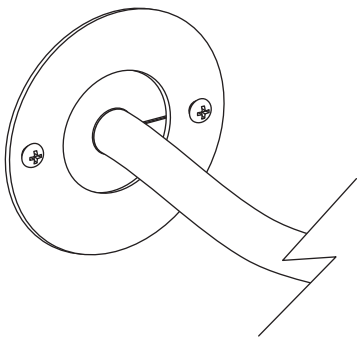
- ドリルとドリルビット
- プラスドライバー

『541/545 Delivery Systems Stand Alone Applications Template』（部品番号 (P/N) 85.0050.05) 内のフットコントロールウォールプレートテンプレートを使用します。

- 1** ドリルを使用し、フットコントロールウォールプレートテンプレートに示されたとおりに、54 mm (2と1/8 インチ) の穴1つと7 mm (1/4 インチ) の穴2つを開けます。
- 2** チューブをグロメットに通します。グロメットとチューブをウォールプレートに押し込んで通します。



- 3** ウォールプレートキットに含まれるネジとプラスドライバーを使用して、カバープレートを取り付けます。



チューブの接続 (541)

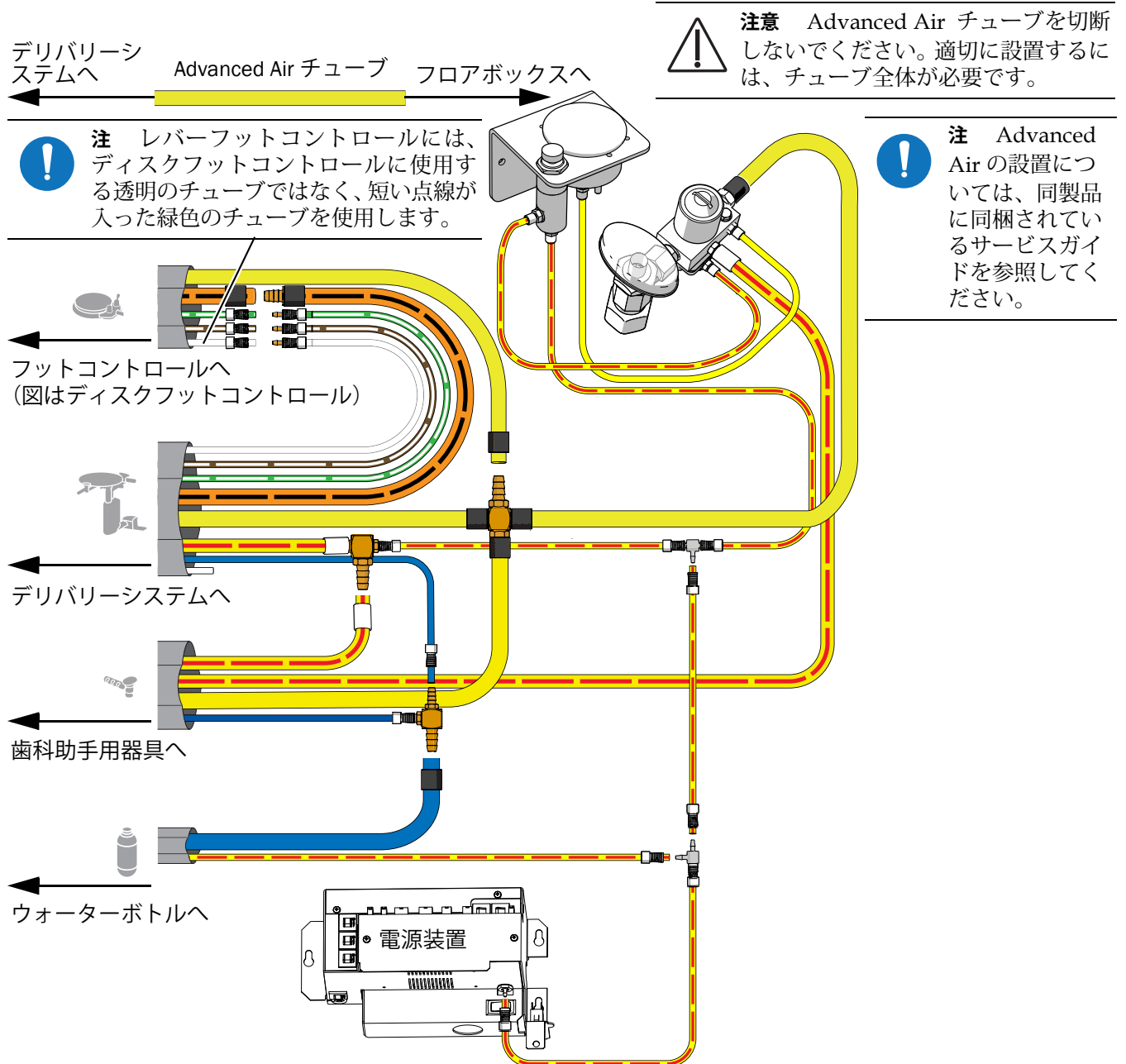
以下のフローチャートに従ってチューブを接続します。



注 A-dec 511 の電源接続には、キットに含まれるクイックディスコネクトを使用します。



注 A-dec 311/411 歯科用チェアへのパイロットエア用配管の接続については、『Connect an A-dec 342, 541, or 542 Delivery System or A-dec 545 Assistant's Instrumentation to an A-dec 311 or 411 Dental Chair Installation Guide』（部品番号 (P/N) 86.0160.00) を参照してください。



チューブの接続 (545)

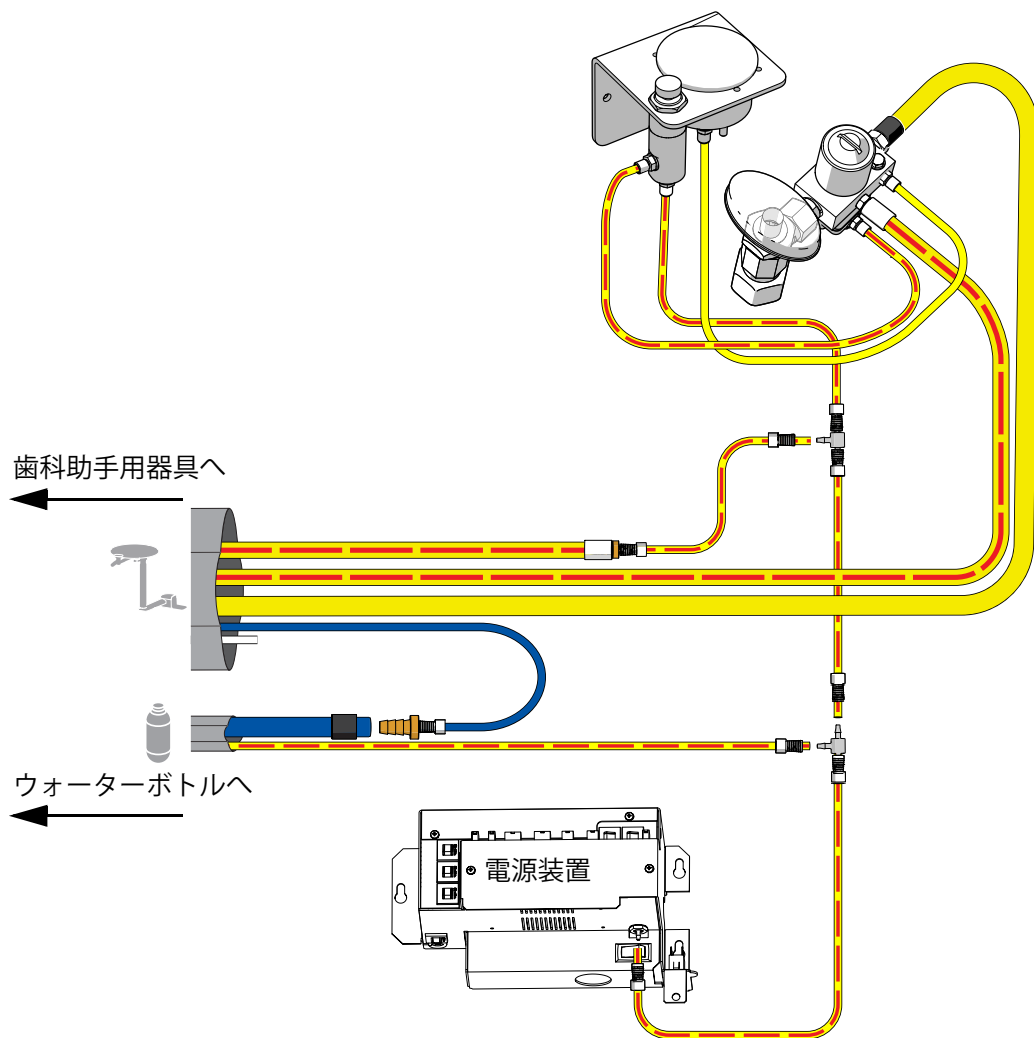
以下のフローチャートに従ってチューブを接続します。



注 A-dec 511 の電源接続には、キットに含まれるクイックディスコネクトを使用します。



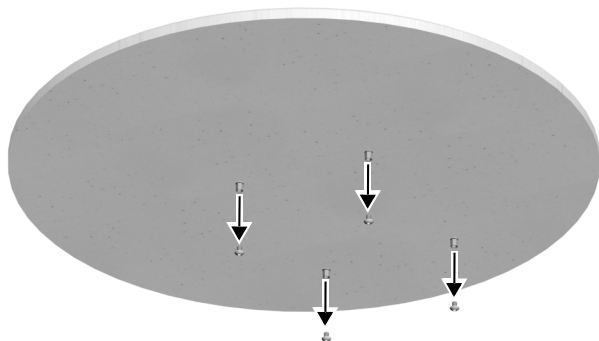
注 A-dec 311/411 歯科用チェアへのパイロットエア用配管の接続については、『*Connect an A-dec 342, 541, or 542 Delivery System or A-dec 545 Assistant's Instrumentation to an A-dec 311 or 411 Dental Chair Installation Guide*』（部品番号 (P/N) 86.0160.00) を参照してください。



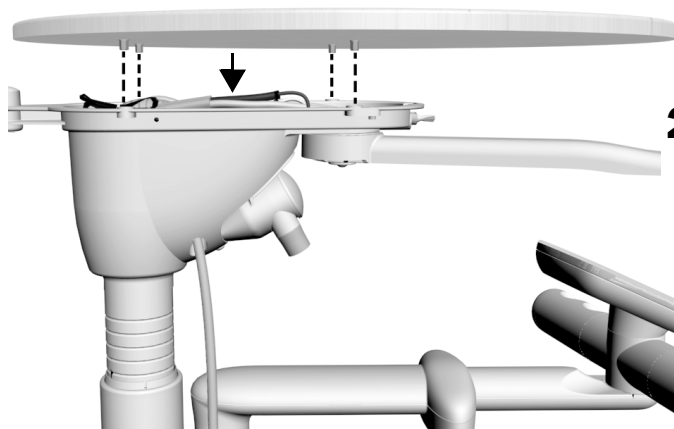
丸型ワークデスクの取り付けおよびレベリング

推奨する工具

- 1/8 インチ六角レンチ



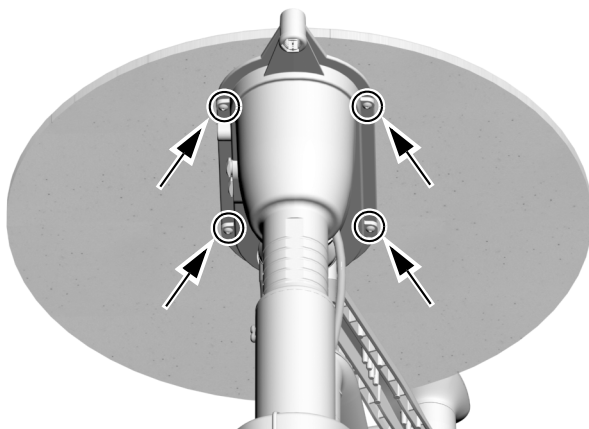
- 1** ワークデスクの下にあるネジ山付きのスタンドオフからネジを取り外します。



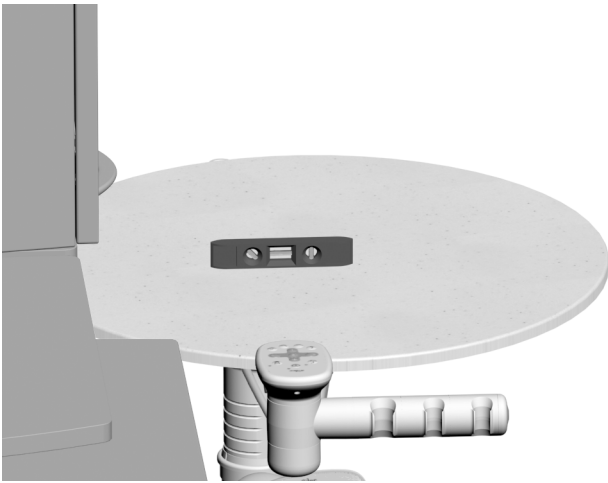
- 2** ワークデスクサポートハウジング上にワークデスクを配置します。サポートハウジングの穴と、ワークデスクの下にあるネジ山付きのスタンドオフの位置を合わせます。



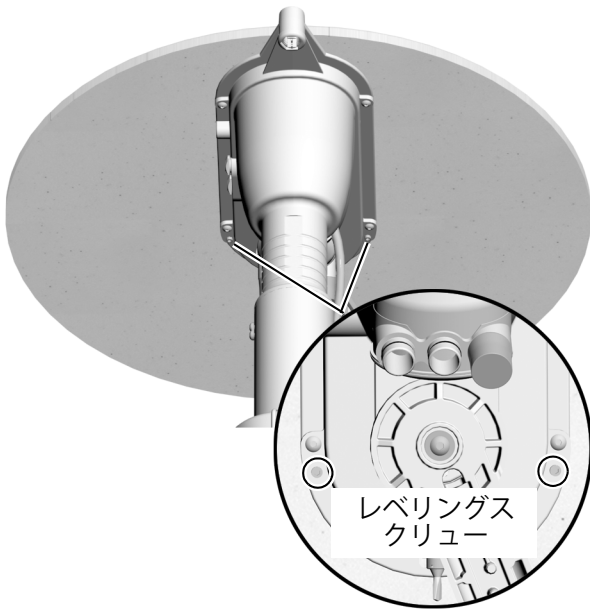
注 その際に挟まないよう、チューブを邪魔にならない位置に寄せておきます。



- 3** ステップ1で取り外したワークデスクネジを挿入します。1/8 インチの六角レンチを使用して、しっかりと固定します。



- 4** ワークデスクのアームを一般的な作業位置に配置し、サポートハウジングの上の丸型ワークデスクの中央に水準器を置きます。

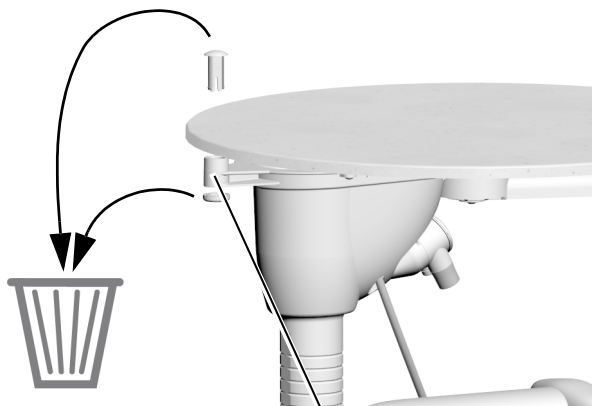


- 5** 1/8 インチの六角レンチを使用して、ワークデスクが水平になるまで、ワークデスクサポートハウジング内の2本の止めネジを調節します。

トレイ・ホルダーマウント（オプション）の取り付け

推奨する工具

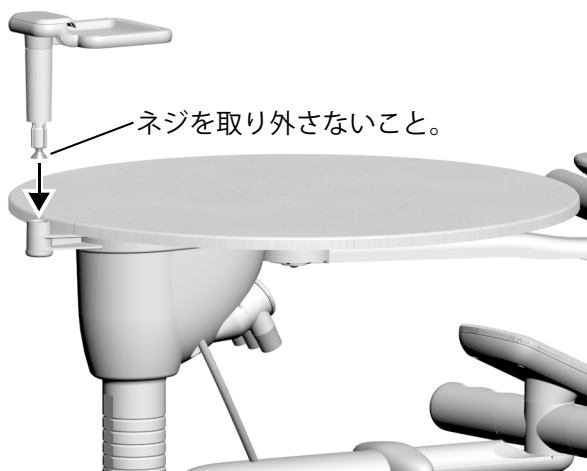
- 3/16 インチ六角レンチ
- ラジオペンチ



- 1** トレイ・ホルダーマウントからテープをはがし、プラグとカラーを取り外して廃棄します。



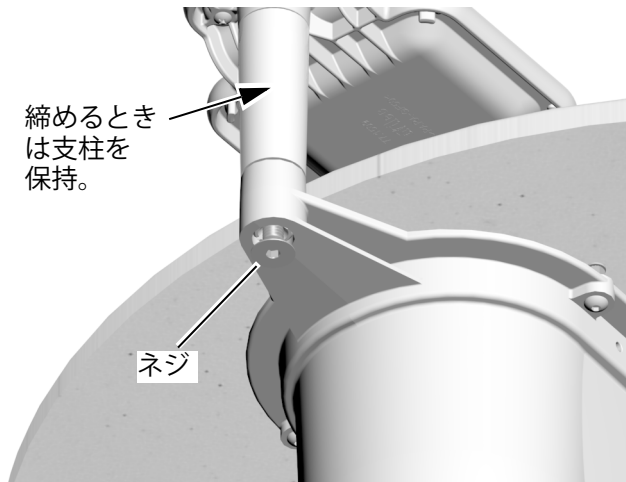
ヒント 取り外す際、必要に応じてラジオペンチでプラグの下部を挟んでください。



- 2** トレイ・ホルダーマウントをワークデスクサポートに挿入します。



注 トレイ・ホルダーマウント下部のネジは残したまま挿入してください。



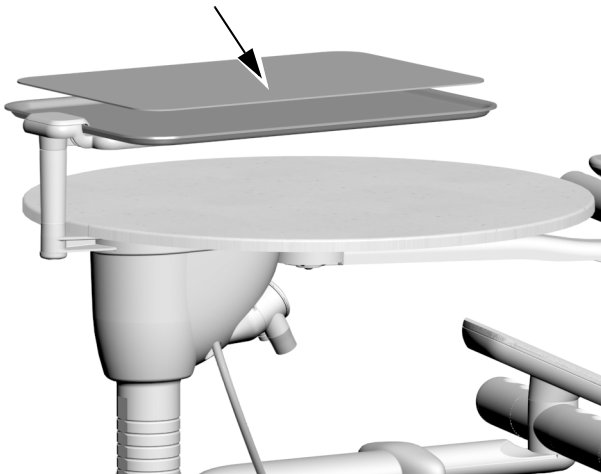
- 3** 3/16 インチ六角レンチを使用して、トレイ・ホルダーマウント下部のネジを締めます。トレイ・ホルダーマウントが回転しなくなるまでネジを締めます（トレイ・ホルダーは回転できる状態であればなりません）。



注 完全に締めたとき、ネジはトレイ・ホルダーマウントに密着してはいません。

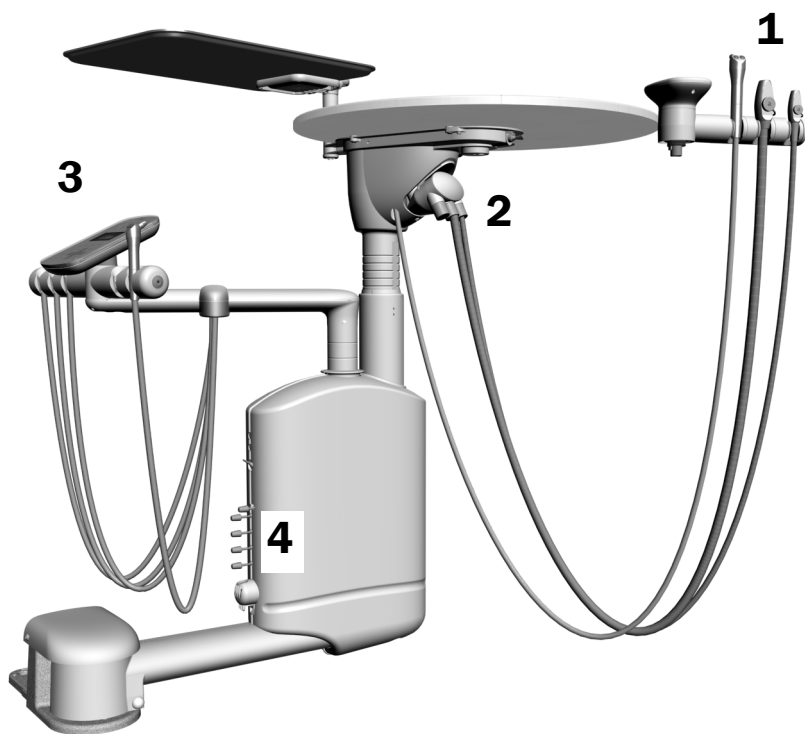


- 4** トレイ・ホルダーマウントにトレイ・ホルダーを取り付けます。



- 5** トレイ・ホルダーにパッドを置きます。

設置の仕上げ



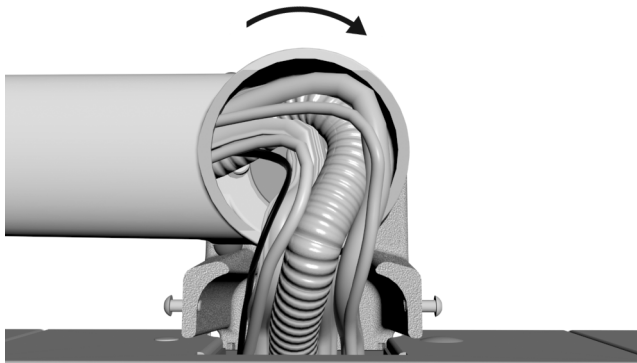
- 1** 歯科助手用ホルダーに歯科助手用器具を置きます。
- 2** 歯科助手用器具のチューブをバキュームキャニスターに取り付けます。
- 3** 541 のみ：シリンジおよびハンドピース管を医師用ホルダーにセットします。
- 4** 541 のみ：調整ノブを取り付けます。

システムの調整

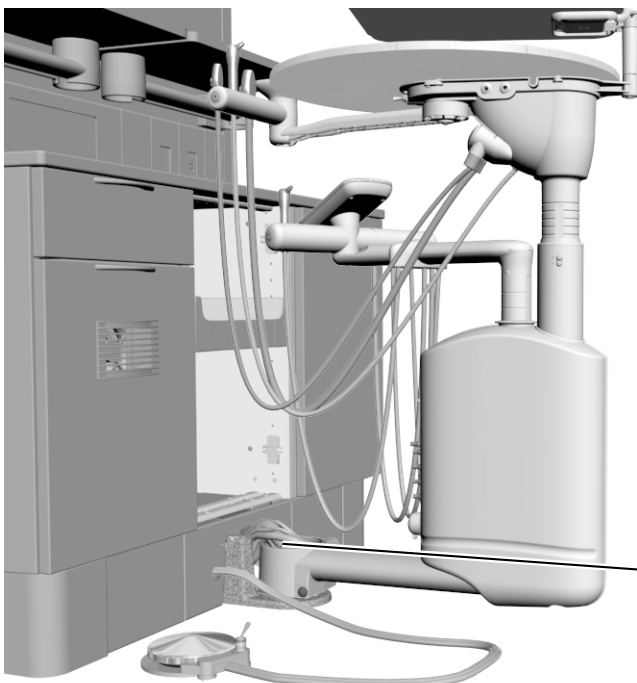
回転張力の調整

推奨する工具

- 3/4 インチソケット（ディープウェル）（6 インチエクステンション付き）



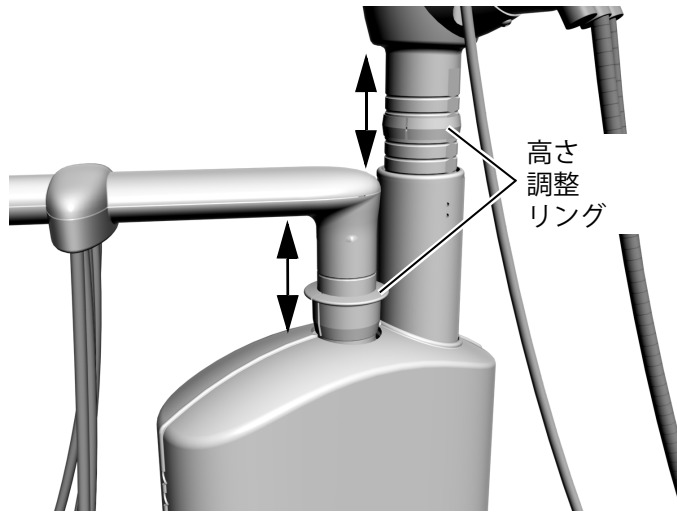
- 1** アセンブリが回転するよう、ハンドピース管に十分なゆるみがあることを確認します。



- 2** アームを回転させる際、わずかに抵抗があり、アームがずれないのが適切な状態です。アームがずれる場合は、3/4 インチソケットとラチェットでハブロックナットを締めます。

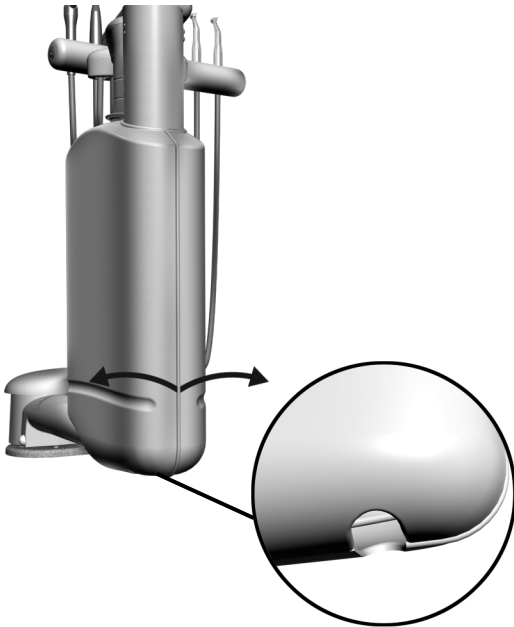
ハブロックナット

ワークデスクと器具用アームの高さ調整



- 1 垂直支柱の上部を持ち上げます。
- 2 希望の位置に高さ調整リングを動かします。
- 3 垂直支柱をリングの上には下げます。

ハンドピース空気送出圧の調整 (541のみ)



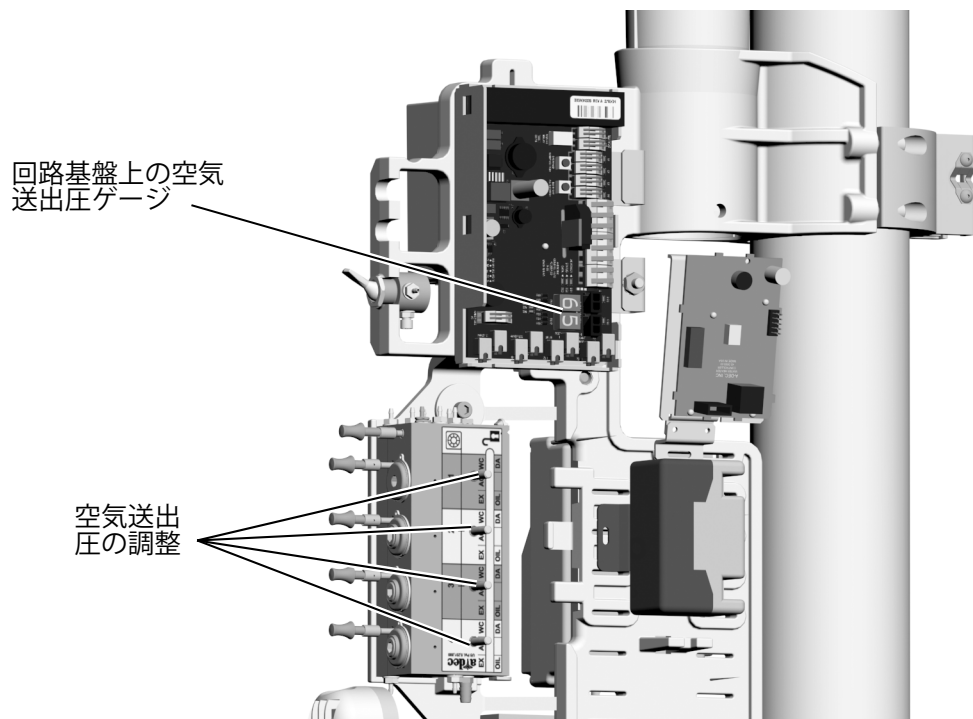
注意 カバーの取り外し・取り付け時は、配線や配管が損傷しないようご注意ください。また、カバーを再度取り付けた後は、しっかりと固定されていることを確認してください。

- 1 コントロールヘッドの真下にある穴を使用し、両カバーを互いから引き離して取り外します。
- 2 ハンドピースをホルダーから取り上げます。圧力を読み取るには、ハンドピースが管に接続されている必要があります。
- 3 水冷却がオフになっていることを確認します。

4 ハンドピースを作動させながら、回路基盤上の空気送出圧ゲージを確認します。



注 圧力測定は、ハンドピース圧力ゲージ、または Deluxe タッチパッドもしくは Deluxe Plus タッチパッドでも実施できます。タッチパッドで圧力を確認するには、調整しながら **－** と **＋** を同時に長押しします。



注意 空気送出調整ステムを回しすぎないようにしてください。ステムが完全に脱落してしまうおそれがあります。

5 メーカーの仕様に従って、起動しているハンドピースの空気送出圧を調整します。圧力を下げるには、ステムを時計回りに回します。

コントロールヘッドのゲージには、空気送出圧が psi 単位で示されます (14.5 psi = 1 バール = 100 kPa)。



注 空気送出圧の調整時には、どの部分における測定かを考慮してください。コントロールヘッドでの圧力をコントロールヘッドのゲージまたはタッチパッドで読み取った場合、ハンドピースにおける値よりも高くなります。

口腔内光源の調整（541のみ）

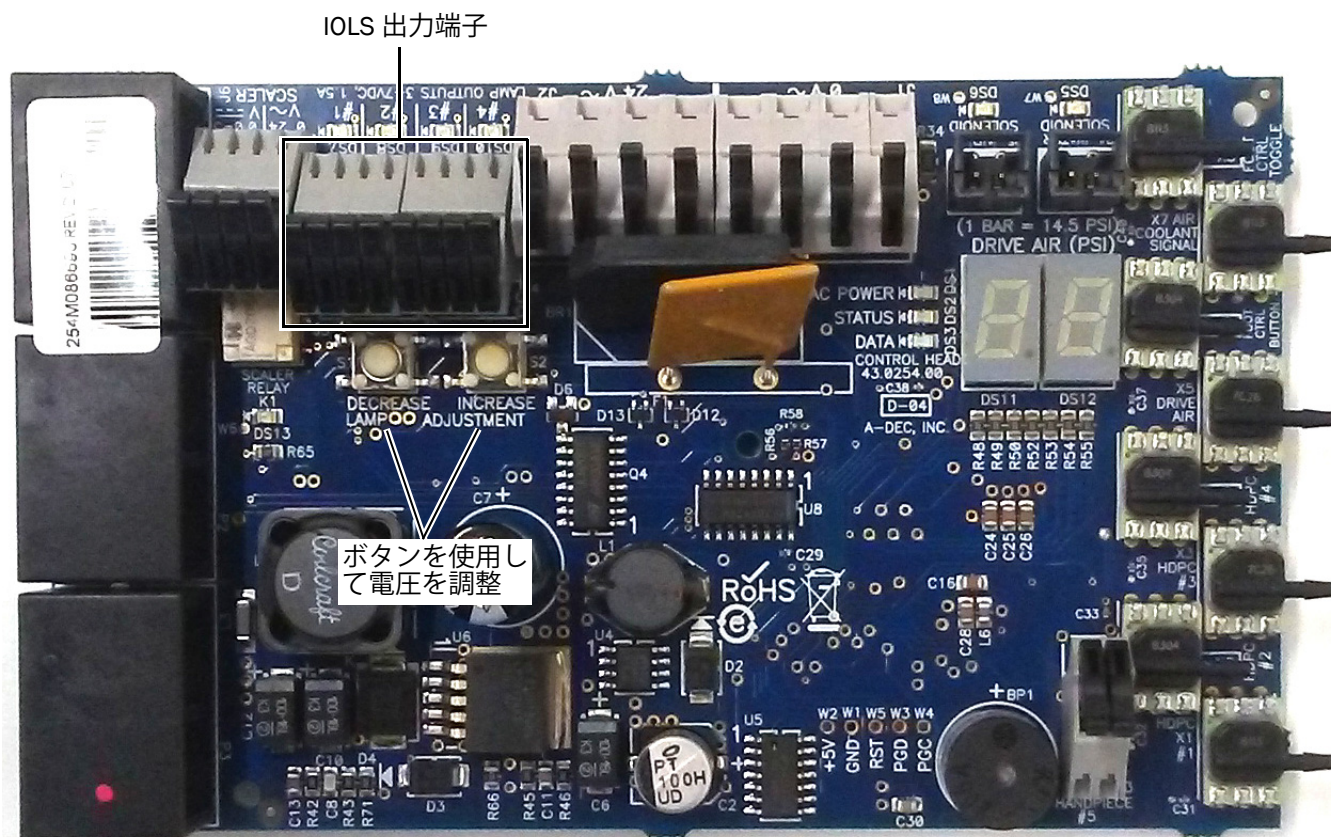
推奨する工具

- 電圧計



要注意 回路基盤は静電気による損傷を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電（ESD）対策が必要です。回路基板の取り付けは、必ず電気技師または有資格の保守担当者が行ってください。

- 1 カバーを取り外します。詳細については、29 ページのステップ 1 をご覧ください。
- 2 DC 電圧に電圧計をセットし、計測するハンドピースの IOLS 出力端子に探針を取り付けます。



- 2 ハンドピースをホルダーから取り上げ、ライトをオンにします。
- 3 端子の後ろにあるボタンを使用し、以下の表に従って電圧を調整します。



注意 以下の表に示す値は、26 AWG ワイヤー、750 mA 負荷、およびバルブでの電圧が推奨値 3.2 VDC の光ファイバーの場合のみ有効です。26 AWG ワイヤーとその他の定格で電力が供給される光ファイバーについては、 $T = (Z \times 0.006 \times Y) + X$ という数式で計算してください。各項は以下を示します。

T：端子板電圧 (VDC)

X：バルブにおける目標電圧 (VDC)

Y：定格ランプ / 負荷電流 (アンペア値)

Z：端子板からバルブまでの 26 AWG ワイヤーの長さ (インチ)

26 AWG 以外のワイヤーゲージを使用する機器については、A-dec カスタマーサービスまでお問い合わせください。

A-dec | W&H、Bien Air、その他のバルブ (定格 3.2 V) の長さおよび電圧の表

A-dec チューブにおける ワイヤーの長さ		バルブでの電圧を推奨値 3.2 V にするための端子板での電圧	A-dec チューブにおける ワイヤーの長さ		バルブでの電圧を推奨値 3.2 V にするための端子板での電圧
(インチ)	(cm)	VDC +/- 0.02	(インチ)	(cm)	VDC +/- 0.02
48	122	3.40	108	274	3.69
54	137	3.43	114	290	3.72
60	152	3.46	120	305	3.75
66	168	3.49	126	320	3.78
72	183	3.52	132	335	3.81
78	198	3.55	138	351	3.84
84	213	3.58	144	366	3.87
90	229	3.61	150	381	3.90
96	244	3.64	156	396	3.93
102	259	3.67			

ハンドピースのタッチパッド設定のカスタマイズ



注 タッチパッド上の記号やボタン上のアイコンは、A-dec Inc. の専有物です。



整備技師用タッチパッド設定

Deluxe Plus タッチパッドでは、6 個中 4 個のホルダー位置について、ハンドピースとタッチパッドの設定をユーザー用に調整できます。残り 2 個のホルダーは無効化されており、コントロールブロックに接続されていないため、設定を行うことはできません。無効化されているホルダーからハンドピースを持ち上げると、持ち上げたハンドピースに関する情報が表示される代わりに、A-dec のロゴがタッチパッド画面に表示されます。

ホルダーの設定

各ハンドピース・ホルダー用にハンドピースを設定できます。ハンドピースの種類には、ベーシックエアー、カメラ、自動、その他、超音波、バキューム、Advanced Air が含まれます。

ハンドピース・ホルダーを調整するには：



1. **[System Setup]** 画面が表示されるまで  と  を同時に長押しします。
2. → を押します。
3. もう一度 → を押して **[Handpieces]** を選択します。
4. **[Handpiece Setup]** 画面で → を押して **[Holder Setup]** を選択します。
5. 設定するハンドピースをホルダーから取り上げます。
6. **[Holder Setup]** 画面で、— または + を押してハンドピースの種類を選択します。
7. ハンドピースの種類に応じて次のいずれかを行います。
 - 電動：設定手順については、コントロールモジュールに同梱されているインストール情報をご覧ください。
 - その他すべての種類：→ を押します。ピープ音が 3 回鳴って、ハンドピースのセットアップが完了したことが示されます。
8. ハンドピースをホルダーに戻します。
9. 起動している各ハンドピースで手順 4～8 を繰り返し、設定を行います。
10. すべてのハンドピースの設定が完了したら、A-dec ロゴが表示されるまで ← を押します。

口腔内光源の設定

以下の設定が可能です。

- **On When Selected**：ホルダーからハンドピースを持ち上げたときに口腔内光源を点灯するか消灯したままにするかを指定します。この機能がオフであっても、フットコントロールを押すと口腔内光源が点灯します。
- **Auto Off Delay**：フットコントロールを放してから口腔内光源を消灯するまでの時間を指定します。この時間は、空気送出を再度使用するとリセットされます。
- **On in Endo**：歯内治療モードを選択しているとき、口腔内光源を点灯するか消灯するかを指定します。



口腔内光源を設定するには、次の手順を実行します。

1. **[System Setup]** 画面が表示されるまで  と  を同時に長押しします。
2. → を押します。
3. もう一度 → を押して **[Handpieces]** を選択します。
4. ↓ を押して **[Intraoral Lt Source]** を選択し、**[Handpiece Setup]** 画面で → を押します。
5. 設定するハンドピースをホルダーから取り上げます。
6. **[Light Source Setup]** 画面で ↑ または ↓ を押して目的の設定に移動します。設定がハイライト表示された状態で、— または + を押して設定を指定し、→ を押します。設定が完了すると、ビーブ音が3回鳴ります。
7. ハンドピースをホルダーに戻します。
8. 各ハンドピースで手順5～7を繰り返し、設定を行います。
9. ハンドピースの設定が完了したら、A-dec ロゴが表示されるまで ← を押します。

コントラスト / ヘルプメッセージの設定

タッチパッドの設定では、タッチパッドディスプレイのコントラストを変更したり、ヘルプメッセージを表示するかどうかを指定できます。

タッチパッドの設定を行うには、次の手順を実行します。

1. **[System Setup]** 画面が表示されるまで  と  を同時に長押しします。
2. → を押します。
3. ↓ を押して **[Touchpad]** を選択し、→ を押します。
4. **[Touchpad Setup]** 画面で ↑ または ↓ を押して **[Contrast Adjust]** または **[Help Messages]** を選択し、→ を押します。
 - **Contrast Adjust**：— または + を押して、コントラストを調整します。→ を押して設定を保存します。設定が完了すると、ビーブ音が3回鳴ります。
 - **Help Messages**：— または + を押すと、ヘルプメッセージを **On** または **Off** にできます。→ を押して設定を保存します。設定が完了すると、ビーブ音が3回鳴ります。
5. すべての設定が完了したら、A-dec ロゴが表示されるまで ← を押します。



注 ヘルプメッセージの一覧は、『**規制情報、仕様および保証**』（部品番号 (P/N) 86.0221.05) に記載されています。この文書は、www.a-dec.com のリソースセンターから入手できます。

システムのテスト

設置が完了したら、以下のチェックリストを使用してデリバリーシステムをテストし、お客様と確認作業を行います。

デリバリーシステム

- ハンドピースが正しく機能し、医師の意向に沿って設定されているか。
 - 水冷却、空気冷却、およびスプレー
 - ハンドピース管のフラッシュ
 - ハンドピース・ホルダーのバルブとスイッチ
 - ハンドピース空気送出圧
- フットコントロールは正常に動作するか。

ユーティリティ

- デリバリーシステムへの空気圧が 552 kPa (5.52 バール) に調整されているか。
- Advanced Air コントロールモジュールへの空気圧が 586 kPa (5.86 バール) に調整されているか。
- フロアボックス (システムに含まれている場合) に空気や水の漏れがないか。
- チューブや接続にねじれがないか、また空気や水の漏れがないか。
- 余分なチューブやワイヤーがコイル状に巻かれて可動部品から離れた場所に収められているか。

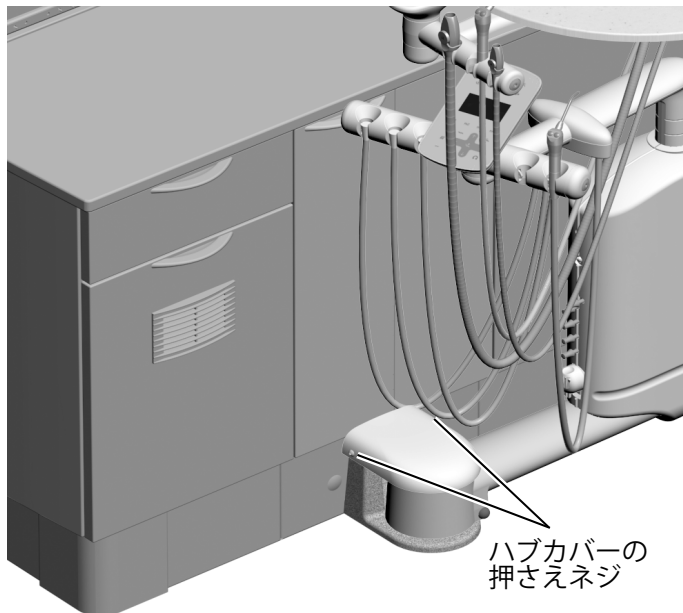
ハブマウントカバーおよびキャビネットのドアの取り付け

推奨する工具

- 5/32 インチ六角レンチ



注意 カバーの取り外し・取り付け時は、配線や配管が損傷しないようご注意ください。また、カバーを再度取り付けた後は、しっかりと固定されていることを確認してください。



- 1** ハブの両側にある押さえネジを取り外します。
- 2** 押さえネジと 5/32 インチ六角レンチを使用して、カバーをハブマウントに固定します。
- 3** キャビネットドアを再度取り付けます。

規制に関する情報および保証

当局から指定された規制に関する情報と A-dec の保証については、『*規制情報、仕様および保証*』（部品番号 (P/N) 86.0221.05）に記載されています。この文書は、www.a-dec.com のリソースセンターから入手できます。

A-dec 本社

2601 Crestview Drive

Newberg, OR 97132 USA

電話：1.800.547.1883 米国 / カナダ国内

電話：+1.503.538.7478 米国 / カナダ国外

ファックス：1.503.538.0276

www.a-dec.com

A-dec Inc. は本書の内容について、商品性および特定用途への適合性の黙示的保証を含む（ただしこれに限定されない）一切の保証を行いません。